



# みやがや

がっこうきょういくもくひょう  
～学校教育目標～

じぶん み みらい こ  
自分を見つめ ともに 未来をつくる子

- 【知】 ひびきあふゆたかなまななかで じぶんを見つめ ともに たんきゆうする子  
響き合う豊かな学びの中で 自分を見つめ ともに 探究する子
- 【徳・体】 たくましくしなやかなこころからだ たがたいせつ ともにけんこうな生き方をつくる子  
たくましくしなやかな心と体を持ち 互いを大切にし ともに けんこうな生き方をつくる子
- 【公・開】 ひとやまちとかわりあひながら まちにほこりをもち ともに あたらしかちをつくりだす子  
人やまちと関わり合いながら まちに誇りをもち ともに 新しい価値をつくり出す子

## 「すばらしい みんなの 宮谷小学校」

校長 羽山 康和

例年より桜の開花、そして満開も遅めとなったこの春。その分、春の訪れに期待が膨らんだような気持ちになりました。この度、命を受けて宮谷小学校の校長を務めることになりました、羽山康和（はやま やすかず）と申します。子どもたち、保護者・地域の皆様と共に、長い歴史を歩んできた、ここ宮谷小学校で勤務できることに、喜びで一杯です。しかしながら、あまりの重責に大きな緊張を感じながら過ごした春休み期間でした。

春休みのある日、私が校外へ出かけようと東門を出たところ、本校の児童と思われる子どもに出会いました。すると門を出た見知らぬ私に、「宮谷小学校の新しい先生ですか。」と声をかけてくれました。また別の機会には、ごく自然に柔らかな表情で「こんにちは。」と挨拶をしてくれた子どもとも出会いました。ささやかな関わりの一コマですが、私の心は温かく柔らかなものとなりました。きっと、宮谷小学校の子どもたちは、その成長を支える多くの大人たちとの温かい関わりを通して、人と人とのコミュニケーションを肯定的に捉えることができているのだろうと想像し、始業式や入学式でみやがやっ子と初めて出会えることへの期待が一層膨らみました。

着任にあたり、本校の校歌の歌詞を見てみると、次のような一節がありました。

♪♪ 学校 学校 わたしたちの 学校 学校 大好きな  
すばらしい みんなの 宮谷小学校 ♪♪

この歌詞は、「子どもたちにとって、保護者の皆様にとって、地域の皆様にとって、そして本校職員にとって、学校が大切な場所としてこれまで存在してきたこと、そして今後も存在し続けること。」を示しているのではないかと思います。毎日の学校生活を通して、子どもたちがこの歌詞の意味を、実感を伴って理解できるような活動を展開していくことで、期待に応えられるようにしていきたいと思えます。そのためには、友だちや保護者・地域の人たちとの関わり合いを大切に学習活動に、一層力を入れていきたいと考えます。

さて、新年度が気持ちよくスタートできるようにするため、4月5日には、最高学年となる6年生児童が登校して、様々な準備作業に協力してくれました。きっと、「自分の力をしっかり発揮して、仲間と協力し合って、宮谷小学校の新生活を創り上げていこう。」という気持ちを胸に、取り組んでくれたことと思います。6年生の頑張りに、感謝とともに嬉しい限りです。

様々な方々に支えられて、本校は、709名の児童と、61名の職員でスタートします。誰にとっても、素敵な場所であり続けたい、そのために職員として真摯に力を尽くしていきたいと思っています。

「すばらしい みんなの 宮谷小学校」の気持ちをもって、本校職員一同、子どもたちの豊かな成長を願って、教育活動に取り組んでいきます。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、これまでと同様に、本校の諸活動へのご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。